

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーモニークロック北町		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9世帯	(回答者数) 7世帯
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等デイサービスが一体となって運営しているため、子ども一人ひとりに対して長期的なライフサイクルで支援することが出来る。	一人ひとりが抱えている障がいや特性を考慮して過ごせるように各部屋を有効活用している。終礼や季節のプログラムの際には皆で参加を促しお子様同士の交流も大切にしています。	外部の講師を招き、特別プログラムを行っています。今後も職員や保護者の意見を聞きながら、様々な分野の人達に協力してもらうことを考えます。
2	通所している児童達が安心して過ごせるよう、スタッフは子ども一人ひとりとときめ細かなコミュニケーションを重視し、日々のちょっとした変化にすぐ対応出来るように日々ミーティング等を行っている。	様々な資格や経験を有している職員を配置することにより、支援の質を日々充実出来るようにしている。子ども達の安全性を確認しながら、職員の配置を柔軟に入れ替えることで誰でもスムーズに支援が出来るように行っています。	制作や音楽など支援員の得意分野を使ったプログラムを行う。
3	児童が興味を持って取り組める支援内容を行っている。このことにより、利用児童が楽しんで活動に参加出来る。	音楽療法と運動療育を軸に支援を行っている。音楽療法では児童の関心に合わせて教材を工夫し、興味を持って取り組めるようにしている。運動では内容が単調にならないように、運動遊びを組み入れている。	ピアノやクラリネット、鈴、レインステックなど児童が自然に体を動かしたくなったり、リラクゼーションが出来る楽器や内容を工夫している。活発に体を動かすことによって起こることが予想される接触や転倒などの怪我の予防に配慮する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携	他事業所の連携までたどり着かないお子様もいる	内容を共有し目的を明確にする。
2	放課後児童クラブ、児童館との交流などを通して地域の子どもたちとの交流ができていない。	地域のお子様たちとの交流方法は思考中です。	他デイさんとの交流が可能のため、その方法で今後は交流を進めていきます。
3			